

北潟湖発見(ディスカバリー)マップ

北潟湖周辺の生きものたち

北潟湖周辺には、湖、湿地、水田、里山...とそれぞれの環境に応じた多様な生きものが生息しています。どんな生きものがいるか見てみましょう。



北潟湖の自然環境と生きもののつながり

豊かな自然が広がる北潟湖周辺へ出かけよう
どんな生きものに会えるかな

北潟湖周辺には、湖、湿地、水田、里山...とそれぞれの環境に応じた多様な生きものが生息しています。

遊歩道の散歩やサイクリング、カヌー・カヤックなど、北潟湖の楽しみ方はいろいろ。のんびりとした風景と時間の中で、「ここにはこんな生きものがいるかも」と見つけるヒントにしてください。

湿地

浜坂湿地のヨシ・ハンノキ



赤尾湿地



浜坂湿地の特徴

以前は谷あい水田（谷津田）でしたが、耕作放棄された後はヨシやハンノキなどが繁る湿地になり、様々な鳥が訪れます。湿地を囲む斜面には雑木林が広がっています。

この環境を好む生きもの

春になるとウグイスの鳴き声が聞こえます。また、シジュウカラやアオジ、希少なノジコの姿が見られるかもしれません。

赤尾湿地の特徴

湧水が流れる浅い湿地で、ヨシを始め多様な抽水植物が生育します。県内有数のコウホネの群生地で、夏から秋にかけて小さな黄色い花を見ることができます。

この環境を好む生きもの

ヨシが群生する湿地は、アオヤンマの産卵に適し、梅雨の時期から初夏にかけてアオヤンマが見られるかも。また、春から秋にかけて、オニヤンマやギンヤンマ、シオカラトンボ、ハラビロトンボを見ることができます。

湖畔の水辺

北潟湖畔公園

湖沿いに遊歩道があり、北潟湖の自然を眺めながら、散歩やサイクリング、カヌーが楽しめます。春には八重桜の並木が湖畔を彩ります。

見られる生きもの

秋ごろにはトンボ（アキアカネなど）が空を舞う姿が見られます。また、冬になると公園の芝生を食べにオオバンが岸辺にあがってくるほか、ヨシガモやマガモなどのカモ類がカヌーポロの浮棧橋に集まって一休みしています。小型の双眼鏡があれば、遊歩道から観察することができます。

北潟湖

北潟湖畔とヨシ



観音川



北潟湖の特徴

北潟湖は大聖寺川を通じて日本海と繋がっていて、淡水と海水が混じり合う湖です。また、ちょうど日本海の南北の中心に位置するため、南方系や北方系の多様な魚が生息します。そして、湖岸にはヨシなどが生育し、生きもののすみかになっています。

この環境を好む生きもの

冬になると、ヨシガモやマガモをはじめとした様々な渡り鳥が訪れます。また、水中の魚を狙って旋回するミサゴの姿も見ることができます。上空にはマガンやヒシクイが「への字」に隊列を組んで坂井平野まで採餌に出かける姿が見られます。

冬水田んぼ

冬水田んぼ



冬水田んぼの特徴

稲刈り後の田んぼに水を張り、冬の間も水をためておく田んぼです。トンボのヤゴやイトミミズ、カエル、ドジョウなど多様な生物が生息します。

この環境を好む生きもの

赤トンボの仲間が産卵のために飛来します。2月頃にはアカガエル類が産卵にやってきます。また、コハクチョウやカモ類、雁類が冬水田んぼを餌場や休息地として利用します。特にコハクチョウは、日中、決まった冬水田んぼに飛来します。落穂や二番穂を食べ、水を飲み、羽繕いや休息をする姿が見られるかも。